

平成21年度 稚内市メモリアル事業

間宮海峡発見200年記念事業

間宮林蔵が樺太は島であることを確認した歴史的偉業から200年を迎え、その偉業を讃え林蔵に関連した事業を開催いたしました。稚内公園にある開基百年記念塔・北方記念館をリニューアルし林蔵に関連した貴重な資料やパネル等を展示した『間宮林蔵展』を6月20日から10月18日までのロングランで開催し、その期間内に「林蔵まつり」や「北海道地域創造フォーラム」、「歴史シンポジウム」、「冒険家フォーラム」、「フィナーレシンポジウム」などの様々なイベントを実施いたしました。

間宮林蔵展(6/20～10/18): 稚内市開基百年記念塔・北方記念館



「間宮林蔵展」オープニングテープカット
左より:佐々木利和民族学博物館教授、手島孝通教育長、絵本作家・関屋敏隆氏、中川信一 間宮林蔵顕彰会長、横田耕一市長、山田繁春市議会議長、渋谷正敏市議



入口より林蔵展を望む



入口を進むと林蔵の銅像がお出迎え



宗谷の聖蹟



伊能大図(宗谷部分)

【主な展示物】

- ・東韃地方紀行、北夷分界余話(つくばみらい市間宮林蔵記念館より借用)
- ・日露国境標石(根室市歴史と自然の資料館より借用)
- ・宗谷の「寝棺」(復元品) ・実用スト-ブ 第1号「カッヘル」(復元品)
- ・伊能大図「宗谷部分」 その他

6/20～10/18までの「間宮林蔵展」の期間中に、市民やツアー客及び個人観光客など合わせて昨年より多い18,701人の方々が来館いたしました。

林蔵まつり(7/12): 北防波堤ドーム (主催: 稚内市間宮林蔵)



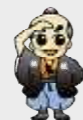
カムイノミの儀式
林蔵に扮した故田上俊三前会長のご子息・田上千佳史氏

4年振りに開催された「林蔵まつり」は、好天に恵まれ市民や観光客で賑わいました。旭川チカッパニ・アイヌ民俗文化保存会(会長:川村兼一氏)のみなさんとサンタン船に乗った田上千佳史氏により林蔵の探検帰還を再現し会場は大いに盛り上がりました。

北海道地域創造フォーラム(7/18): 稚内総合文化センター



作家: 童門冬二氏
【基調講演】
「愚中の人・間宮林蔵が問いかけるもの」



道外(東海市、つくばみらい市)、道内(伊達市、松前町他)、宗谷管内を含めた17市町村長に出席をいただき、首長サミットを開催しました。内容は地域特性を活かした「ふるさとづくり」と「地域経営」について話し合われました。(参加者:200人)

歴史シンポジウム(9/5): 稚内総合文化センター



【関係者:左より】
内山真澄稚内市学芸員、佐々木史郎教授(国立民族学博物館)、佐々木利和教授(国立民族学博物館)、横田耕一市長、タチヤーナ・ローン館長(サハリン州郷土博物館)、中村和之教授(函館工業高等専門学校)、中川善博稚内市主事(通訳)、千田周二教諭(稚内高校)、古川博之教諭(稚内高校)

北方交易、北方先住民を研究する先生方による発表が、林蔵が渡樺した地「稚内」で開催されました。サハリンからは、タチ



タチヤーナ館長の研究発表



佐々木教授の基調講演

冒険家フォーラム(10/10): 稚内総合文化センター



【出席した冒険家】
安東浩正: 冒険家・自転車野郎
(凍結した間宮海峡を自転車で渡った)
五十嵐憲: 遠泳横断者
(間宮海峡・宗谷海峡などを遠泳横断)
阿部 勇: 樺太犬保存会会長
(犬ぞりで凍結した間宮海峡を横断)
高橋大輔: 探検家・作家
(林蔵の足跡を辿ってサハリン、大陸を歩く)
関屋敏隆: 型染版画家・絵本作家
(林蔵の北方探検を描いた絵本「まぼろしのデレン」の作者)

稚内にゆかりのある冒険家の方々にお越しいただき、リレー式の講演会を開催。その後、会場参加者も交え「全体トーク」を開催したくさんの意見が出されました。(参加者:80名)



林蔵ウォークinわっかない

- 第1回(7/3): 市民ナイトウォーキング
市役所 北方記念館 6km
参加: 130名(最高齢93歳、最年少8カ月)
- 第2回(7/26): 市民大歩こう会
市役所外 宗谷岬 最長32km
参加: 65名(最高齢73歳、最年少8歳)
- 第3回(9/26): 抜海岸線を歩く
抜海岸 坂の下水水浴場 8km
参加: 17名(途中で「歩測体験ゲーム」を実施)



利尻富士をバックに砂浜を歩く



間宮海峡発見200年記念キャラクター

「りんぞうくん」の紹介

海峽を望むりんぞうくん

幼少期のりんぞうくん

測量をするりんぞうくん

フィナーレ・シンポジウム(11/14)

稚内総合文化センター

今年のメモリアル事業「間宮海峡発見200年記念事業」の締めくくりとして、シンポジウム「稚内の魅力と可能性」を開催。(参加者:60名)



シンポジウム 稚内の魅力と可能性

基調講演



パネラーと会場が一体となって、今後の稚内について熱く語り合いました。